

涙と笑顔のメッセージ

CONTENTS

- 04 1. 悲願達成、あふれる涙(フェンシング)
- 06 2. 一球入魂、弾ける笑顔(バレーボール)
- 08 3. 電光石火、若き躍動(バスケットボール)
- 10 4. 千客万来、伝える感謝(会場周辺やスタッフなど)
- 11 スペシャルメッセージ(佐々木慶将選手兼監督)



【写真】フェンシングやバスケットボール競技など激戦の舞台となった市総合体育館(ユードーム)

感動と感謝にあふれた国体

46年ぶりの地元開催となった第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」。全国の強豪アスリートが、ここに岩手に集結した。

市内では、フェンシング、バレーボール、バスケットボールの各競技を開催。リオデジャネイロ五輪やロンドン五輪のメダリストを含むトッププレイヤーが、持てる力の全てを尽くして頂点を目指した。

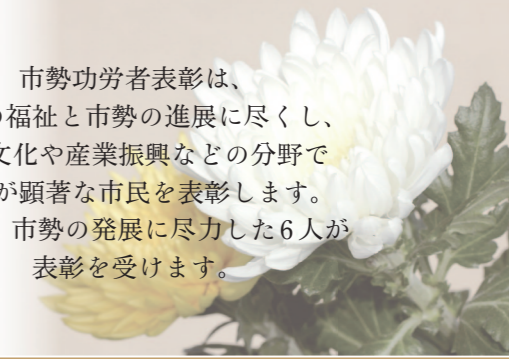
今回の大会テーマは「広げよう感動。伝えよう感謝」。東日本大震災からの復興と、それを支援してくれた全国への感謝を掲げた特別な大会だ。

今号では、市内で行われた各競技に密着。岩手チームの活躍を中心にレポートする。

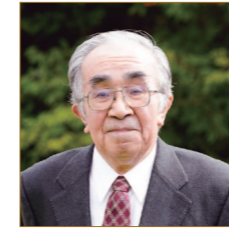
選手や関係者が見せた感動の涙と笑顔、躍動するエネルギーは、見る者の胸を打った。彼らの大会にかけた熱い思いや、感謝のメッセージを紹介する。

〔巻頭スペシャル〕 平成28年度 市勢功労者表彰

市勢功労者表彰は、公共の福祉と市勢の進展に尽くし、教育文化や産業振興などの分野で功績が顕著な市民を表彰します。今年は、市勢の発展に尽力した6人が表彰を受けます。



児童生徒の健康管理の向上に注力



梁川 昭祐
76歳・山目町一丁目
教育文化功労

1966年から現在まで中里小の学校薬剤師、66年から86年まで3度にわたり中里中の学校薬剤師を務め、地域の児童生徒の健康管理の向上と学校保健の充実に貢献しました。

学校保健委員会では学校環境衛生について助言を行い、児童生徒の学習環境の向上に努めました。受賞について「とても光栄なこと」とにこやかに話しました。

友好都市住民との友好交流を推進



小山 謂三
79歳・室根町折壁
自治功労

1997年11月から今年6月まで室根・吉川交流協会会長、2008年5月から今年6月まで一関市室根友好交流推進協議会会長を務め、友好都市住民との友好交流の推進に貢献しました。北海道根室市や和歌山県田辺市などとの交流にも積極的にに関わり、「交流事業は継続することが大事」と訴えます。

受賞について「うれしい。地域に恩返ししていきたい」と話しました。

児童の健康管理と学校保健の発展に尽力



木村 力夫
76歳・三関
教育文化功労

1974年から現在まで滝沢小の学校医を42年間務め、児童の健康管理と学校保健の充実に力尽くしました。81年には木村消化器内科医院を開業。88年には一関市医師会の理事に就任し、副会長、会長、顧問を歴任するなど、地域医療の確保と充実に貢献しました。

受賞については「家族の支えのおかげ」と感謝していました。

古里の偉人・芦東山の研究と顕彰に貢献



芦文八郎
96歳・大東町洪民
教育文化功労

1982年、「無刑録」の著者である芦東山の事績を伝え、顕彰する「芦東山先生記念館」を私費で開設し、無料で開放。2007年には「一関市芦東山記念館」の館長に就任し、保管していた資料を同記念館に寄贈しました。08年、名誉館長に就任し、現在まで芦東山の調査研究、顕彰や関連資料の収集に尽力しました。「念願の新記念館が完成してうれしい」と振り返りました。

観光客の受け入れ体制を確立



白澤 剛一
77歳・三関
産業功労

いわいの里ガイドの会の設立に携わり、08年から今年3月まで同会の会長を務めました。その間、同会の運営と観光客の受け入れ体制の確立に尽力。市の観光振興に貢献しました。県内の観光ボランティアの融和にも尽力しました。「訪れた人と同じ目線でガイドすることを心掛けた」と振り返り、「ガイドの会や、さまざまな人に支えてもらった」と感謝しています。

地域の児童生徒の健康を見守る



後藤 健
81歳・花泉町油島
教育文化功労

1979年7月に後藤耳鼻咽喉科医院を開業。地域医療の確保に尽力する傍ら、同年8月から現在までの37年間、市立幼稚園、小中学校の学校医を務めました。「難聴は、さまざまな病気の初期症状。見逃さないよう注意を払った」と話し、児童生徒の健康管理の向上と学校保健の充実に貢献しました。また、一関市医師会の監事を務め、地域医療体制の発展にも貢献しました。